

平和な世界を願って

2002年が始まった。21世紀がスタートした昨年は、米・同時多発テロ事件とアフガニスタン空爆、さらにイスラエルとパレスチナの衝突と、平和の幕を引せつけられた。今年こそ「平和な年」と願う人は多いはず。でも、私たちに何ができるのだろうか。県内には国際貢献のためにさまざまな活動をしている子供たちがいる。その声を耳を澄ませてみよう。

【柿沼秀行、宮崎泰宏】



大きな模造紙に絵を描いて楽しく過ごす外国と日本の子供たち。子供たちの交流を通じて新しい平和が見えてくる

みんなが助け合うことから

岡山市立平福小6年

片山陽子さん(12)

テロ事件の後、ニューヨークの子供たちがショックを受けて傷ついているというニュースを見て、かわいそうだと思いました。早速クラスのみ



かアザラシとか、楽しい

いじめや犯罪も「戦争」

岡山市立

岡山後楽館中3年

三宅幸子さん(14)

国際理解部の部活動でカンボジアの孤児院の子供たちを支援するボランティアに参加しました。ビデオレターも編集



友だち同士よく手紙を書きますが、カンボジアの同じ年代の人と同じ

平等な世の中こそが平和だ

加茂川町立

加茂川中3年

笹井和寛君(16)

卒業生が在学中に使っていたリコーダー約60本を何かに役立ててもらおうと、生徒7人でフィリピンを訪ね、子供たちに贈りました。現地では、レストランの出入り口に



銃を持った警官が立ち、複数のバケツを抱えた女性、ポンプで生活水をくみ上げているなど、人々の生活は満足とは言

他者の価値観認めることを

岡山白陵高2年

岩岡寛人君(17)

A M D A 高校生会の活動に参加しています。募金活動をして、長時間街頭に立ち、時間を割くのはつらいことです。しかし、喜んでいる子供たちの笑顔を思い浮かべ



たどたん、自分の喜びでもあることに気付かされる道徳的な行為は本来、打算的なものではないこ

昨年11月、県内の高校で話を合う姿は真剣です。小さいことから生たちが平和を求め、自らのもの。子供たちからのゆっくりと実践すること分たにできること何となく平和に向けたメッセージとが大切だと思つてかを探る岡山市でも平和を募集している。

和の声が設立された。メンバーの一人、岡山 今のところ、アフガニスタンへ向けた募金や、小学校活動に取り組んでいる岡(17)は「核兵器の廃絶」を目標としている。

「平和の声」高校生アピール

の授業の中に平和

理科大付高、就実高など運動などは、以前から参加教育をほっきの位置付の生徒約20人。具体的な加してみたいと思つてきたカリキュラムの導入プロジェクトは今後決まりました。そこへあの悲惨な事件が起きまを県教委などに要望していくが、「平和って必要なテロ事件が起きまを望んでいる。問い合わせは、子供たちの力で平からないけど、何か岡山NPO共同事務所和な世の中にできないだしないといけない。そう(0806・2260・62)とか」といった問題ま思っ立ち上がった会(34)へ。

絵を描いて、「がんばっ

て」と書いたメッセージカードを送りました。どんな役に立つかわからないけど、みんなが助け合うことから始まって、だんだんいろんなことが協力できるようになって平和な世の中ができると思う。だから、困っている人がいたら助けてあげたい。

ように手紙のやり取りをして心が通じ合えるといいいます。日本は確かに戦争がなく、カンボジアに比べれば平和な国です。でも、いじめや犯罪は小さな戦争ではないでしょうか。一人一人がもっと他人を思いやる気持ちを持てば、もっと平和になれるはず

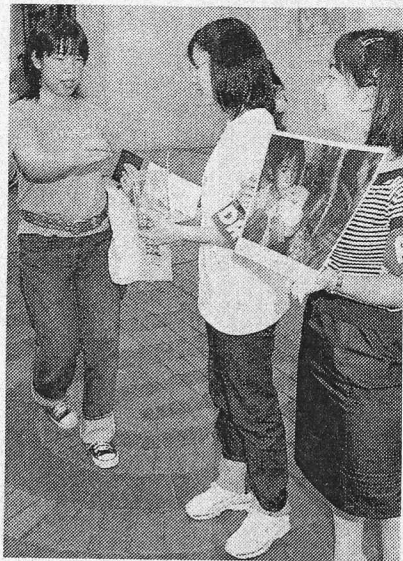
ませんでしたがそんな中、ホームステイ先では家族のように接してもらい、子供たちは贈ったリコーダーで一生懸命演奏してくれ、感激でいっぱいでした。罪がない人までも傷つける戦争がなくなくなり、弱者や強者の差別がなく世界中のみんなが平等な世の中こそが平和だと思えます。

とが分かりました。思い通りに行かずに不満足な状況というのは誰にでもあると思いますが、相手の価値観を認めて、違つたところを認識することが平和につながるのだと思います。みんなが他者の「価値」を認められるキヤパシティを持てる、そんな世界になってほしい。

子供の声に耳澄まそう

国際貢献のため、外国人との交流活動や、紛争、貧困にあえぐ地域への支援活動を行っている団体がある。子供たちも、そんな団体を

を支える大切な手になっている。さまざまなおボランティアの仕方での活動をする団体と、子供たちを紹介する。



写真パネルを手に、街頭募金を呼び掛けるAMD A高校生会のメンバー—岡山市表町2の天満屋岡山店前で昨年8月

カンボジアでマラソン

ハート・オブ

ゴールド

岡山市西幸川

8720の2

(086・284・

9700)

五輪・女子マラソンで活躍した有森裕子さんの類、運動会の様子などを購入している。

プロジェクトをサポート

AMD A

高校生会

岡山市檜津3-1

001

(086・284・

7730)

AMD Aのプロジェクトをサポートする会として、95年に設立。メンバー約20人が街頭募金などを行っている。昨年はミ

ヤンマー子ども病院に隣接する栄養コーナーに食糧を提供するための活動を支援した。

1、2年の時にカンボジアの小学校再建を支援した県立倉敷天城高校3年、川上侑希さん(18)は「実際に現地を訪れて敏

毎年夏と冬にイベント

こくさいこども

フォーラム岡山

岡山市幸町3の1

〒550

(086・060・221・

09600)

子供のころから異文化に接しよう、95年11月、海外勤務の経験が長い大学教授や会社社長らの呼びかけで設立。毎年夏と冬にイベントを開き、日本人と外国人の子供の交流の場を提供

している。

各国のNGOと交流

国際貢献トピア

岡山構想を推進

する会(トピアの会)

岡山市奉違町3の1の28

(086・251・

6210)

94年に設立。毎年、医療や教育、宗教などテーマを設け、各国のNGOを招いた会議を開き、市民レベルの交流を続ける。昨年、小学校と交流がある

内約500人の子供が参加する「こどもサミット」を開き、日本の子供と交流を深めた。ホームステイで韓国の小学6年の女の子を受け入れた岡山市立旭童小6年、富阪梨恵さん(11)は「日本と韓国の遊びを教え合いました。別れるときはお手紙をもらいました。何か書いてあるか知らなければ、大切な宝物」

ブラジルの子供のために

岡山市立平福小5年

中野周平君(11)

AMD Aのプロジェクトに参加して、ブラジルで一番貧しい地域の子供たちに、パソコンを使った勉強ができるよう、学校で14万円を目標に募金



ウガンダの男の子を支援

岡山学芸館高1年

黒田

真寿美さん(16)

貧しくて教育を受けられない子供たちのため、里親になって支援しているNGOの活動に参加して、ピーター君というウガンダの11歳の男の子を支援しています。古紙



を回収して、毎月4500円の支援を続け、教育などに必要なプログラムに役立ててもらっています。ピーター君から昨年暮れ、クリスマス・カードが送られてきました。色鉛筆でいねいに花の絵が描いてありました。元気に成長しているのを見ると、親のようにうれしくなるものです。これから少しずつ成長を見守ってきたい。微力ですが、個人を支援することが、目に見える国際貢献だと思っています。



昨年行われた「こどもサミット」で、玉野市の浜川海岸で砂遊びをして交流を深める子供たち